
ぐうたらな山伏

クラシカル山田

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぐうたらな山伏

【Nコード】

N46970

【作者名】

クラシカル山田

【あらすじ】

山伏>>やまぶしく<<とは、山の中をひたすら歩き、修行をする修験道の行者。「修験者」>>しゅげんじや<<とも言つ。

白装束を着て入峰し、断食、滝打ち、火渡り、座禅、忍苦の行など、厳しい艱難苦行を行なつ。

ぐうたらな山伏 part 1 「山伏」

山伏>>やまぶし<<とは、山の中をひたすら歩き、修行をする修験道の行者。「修験者」>>しゅげんじや<<とも言つ。

白装束を着て入峰し、断食、滝打ち、火渡り、座禅、忍苦の行など、厳しい艱難苦行を行なう。

私は常に人に頼って生きている。

自分がしなくても誰かが何とかしてくれる、自分には無理だ、あきらめよう……

努力・研鑽、そういう思いを根に持って行動したことは一度もなかった。

疲労するまで歩き、腹が減ったら好きなものを食べ、誘惑するものがあれば嫌悪感を抱くことなく手を伸ばしていた。

改めて思うと、私は人生の中で追い詰められたことは一度もない。

人間は、追い詰められてこそ新たな道を見つけ進み、その道がどんなに険しい道でもあきらめることなく進むことができる。

ところが、私には後ろから常に支えてくれる存在がいる。

そのため、少しでも道を誤ったと感じると、先のことは考えずに、

その上、散々後を汚し去っていく。

毎回この繰り返しで、前進することがない。

毎日寝て起きての繰り返し、自分を卑下し、逃げ道を探しては転がり込み、我俣を通し、全てを下に見ている。

全てが当たり前のようにあると考え、今日も暗い部屋でモニタを眺める。

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4697o/>

ぐうたらな山伏

2010年10月23日20時52分発行